

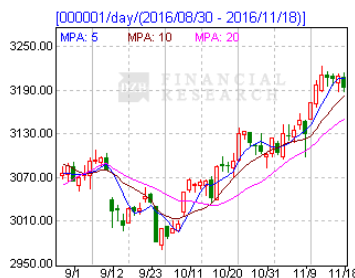


## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	18,867.93	-35.89	-0.19	0.11	8.28	17,425.03
NASDAQ	5,321.51	-12.46	-0.23	1.61	6.27	5,007.41
日経225	17,967.41	104.78	0.59	3.41	-5.60	19,033.71
上海総合	3,192.86	-15.60	-0.49	-0.10	-9.79	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,417.46	-19.08	-0.56	0.01	-8.40	3,731.01
ハンセン	22,344.21	81.33	0.37	-0.83	1.96	21,914.40
H株	9,349.31	22.77	0.24	-0.89	-3.23	9,661.03

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は0.8%安と4週続落、本土市場は0.1%安

香港市場ではハンセン指数が1週間で0.8%安と4週続落した。米長期金利の上昇を背景に香港を含む新興国からの資金流出を警戒する動きが相場の重しとなった。14日には決算発表を控えたテンセントが大幅に下落して相場を押し下げた。ただ、下値では押し目買いも入り、その後は総じて一進一退の相場と展開となった。本土市場では上海総合指数が1週間で0.1%安と小幅ながら6週ぶりに反落。人民元レートの連日の下落を受けて資金流出への警戒感が広がったが、総じて底堅く推移した。

### 今週の展望:香港市場は弱含みの展開か、新興国からの資金流出懸念が重しに

香港市場は弱含みの展開か。米大統領選以降、米国の長期金利上昇で米ドル高が加速しており、引き続き新興国からの資金流出懸念が香港市場にとっても相場の重しになりそうだ。一方、「深港通」のスタート日が今週中にも発表される公算が大きいことに加え、中国の来年の経済運営の基本方針を決める中央経済工作会议も近く開催される見通しとなっており、政策期待が高まれば相場の下支え要因となる可能性がある。一方、本土市場は人民元安が引き続きマイナス材料だが、政策期待で底堅い展開が見込まれる。

## 先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 銀河娛樂 (00027)	35.95	8.45
2 瑞声科技 (02018)	73.85	7.26
3 チャイナ・ユニコム (00762)	9.07	5.47
4 サンス・チャイナ (01928)	36.95	5.27
5 中国人寿保険 (02628)	19.96	3.85
6 恒隆地産 (00101)	17.00	2.29
7 中国中信 (00267)	11.68	2.28
8 中国旺旺 (00151)	4.82	1.69
9 CNOOC (00883)	9.77	1.66
10 ワーフ (00004)	55.30	1.56

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国神華能源 (01088)	15.80	-8.03
2 香港鉄路 (00066)	39.15	-6.56
3 中国海外発展 (00688)	22.00	-5.17
4 新鴻基地産 (00016)	100.30	-4.11
5 AIAグループ (01299)	46.85	-3.10
6 長江実業地産 (01113)	50.75	-3.06
7 中電控股 (00002)	73.70	-3.03
8 信和置業 (00083)	11.24	-2.77
9 中国工商银行 (01398)	4.48	-2.61
10 シノベック (00386)	5.28	-2.58

## ▼今週の主なイベント

- 11月24日(木)
- 【香港】貿易統計(10月)
- 【米国】感謝祭で休場
- 11月27日(日)
- 【中国】工業企業利益(10月)

## ▼今週の期待材料

- ◆「深港通」の開始日が早ければ今週中にも発表、香港証取 CEO は「すでに準備は完了」と発言
- ◆中国政府が来年の経済運営の基本方針を決める中央経済工作会议を近く開催、政策期待が高まる公算
- ◆トランプ米次期大統領の保護主義政策、中国主導の貿易圏構想の支援材料に

## ▼今週の懸念材料

- ◆米大統領選以降に米10年債利回りが急上昇、香港を含む新興国からの資金流出が加速
- ◆人民元の対米ドル中間値が11営業日続落、人民元の下落で中国からの資金流出への警戒感が強まる公算
- ◆中国の10月の小売売上高は前年同月比10.0%増、伸び率は前月の10.7%増から大きく鈍化

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ チャイナ・モバイル (00941) : 10月の4G加入純増数が前月比18%増加
- ☆ 中国神華能源 (01088) : 10月の石炭販売量が前年同月比35%増、発電量は8%増
- ☆ 中国生物製薬 (01177) : 1-9月期決算が12%増益、6月中間決算から伸び率加速
- ☆ 中国人民保険 (01339) : 子会社3社の1-10月の保険料収入が14%増加
- ☆ キングソフト (03888) : 7-9月期決算は売上高が48%増、純利益は3倍に拡大
- ◇ 復星国際 (00656) : ポルトガル商業銀行の増資引き受け、1.75億ユーロで17%取得
- ◇ 中国人民財産保険 (02328) : 華夏銀行の株式約20%の取得手続きが完了
- ◇ 紫金鉱業集団 (02899) : 中国証券当局が50億元規模の社債発行計画を承認
- ★ ササ・インターナショナル (00178) : 23日に中間決算を発表、市場予想は41%減益
- ★ チャイナ・ユニコム (00762) : 10月の4G加入純増数が前月比16%減少

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。